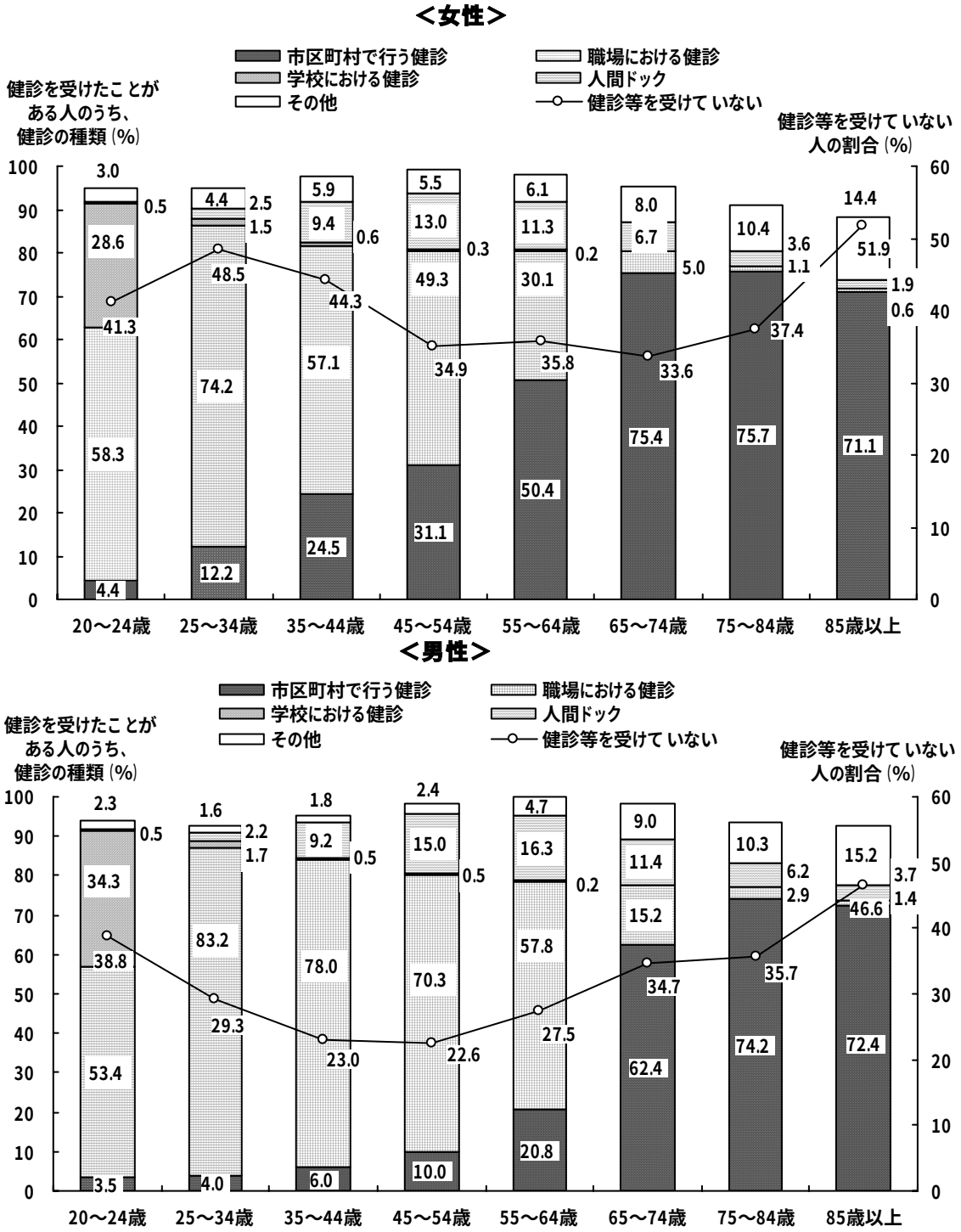
Ⅱ－３．生涯を通じた男女の健康支援

１．年齢階級別健康診断受診率

健診等を受けていない人の割合は、女性平均 39.6%、男性平均 28.9%であり、年齢階級別にみると、健診等を受けていない人の割合が最も高いのは、女性は 85 歳以上（51.9%）、続いて 25～34 歳（48.5%）、35～44 歳（44.3%）であり、男性は 85 歳以上（46.6%）、続いて 20～24 歳（38.8%）、75～84 歳（35.7%）となっている。

図表Ⅱ－３－１　年齢階級別健康診断受診率（全国）



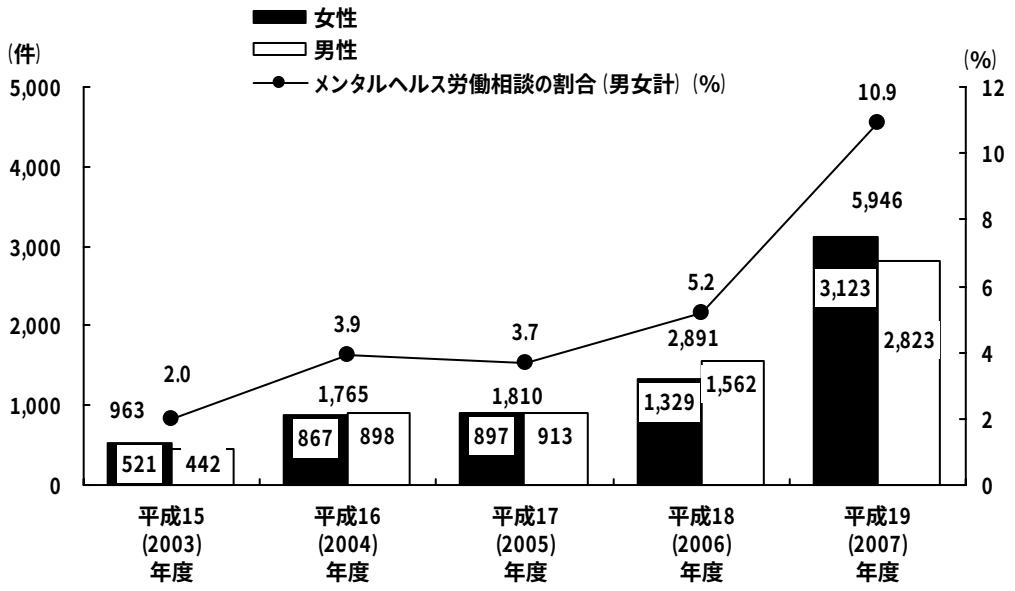
注：健診の種類は複数回答

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」平成 19 年

２．メンタルヘルス労働相談件数

メンタルヘルス労働相談件数は年々増加傾向にあるが、平成 19（2007）年度は女性 3,123 件、男性 2,823 件であり、ここ数年でみても大幅な増加となっている。

図表Ⅱ－３－２　メンタルヘルス労働相談件数及び相談割合の推移（都）



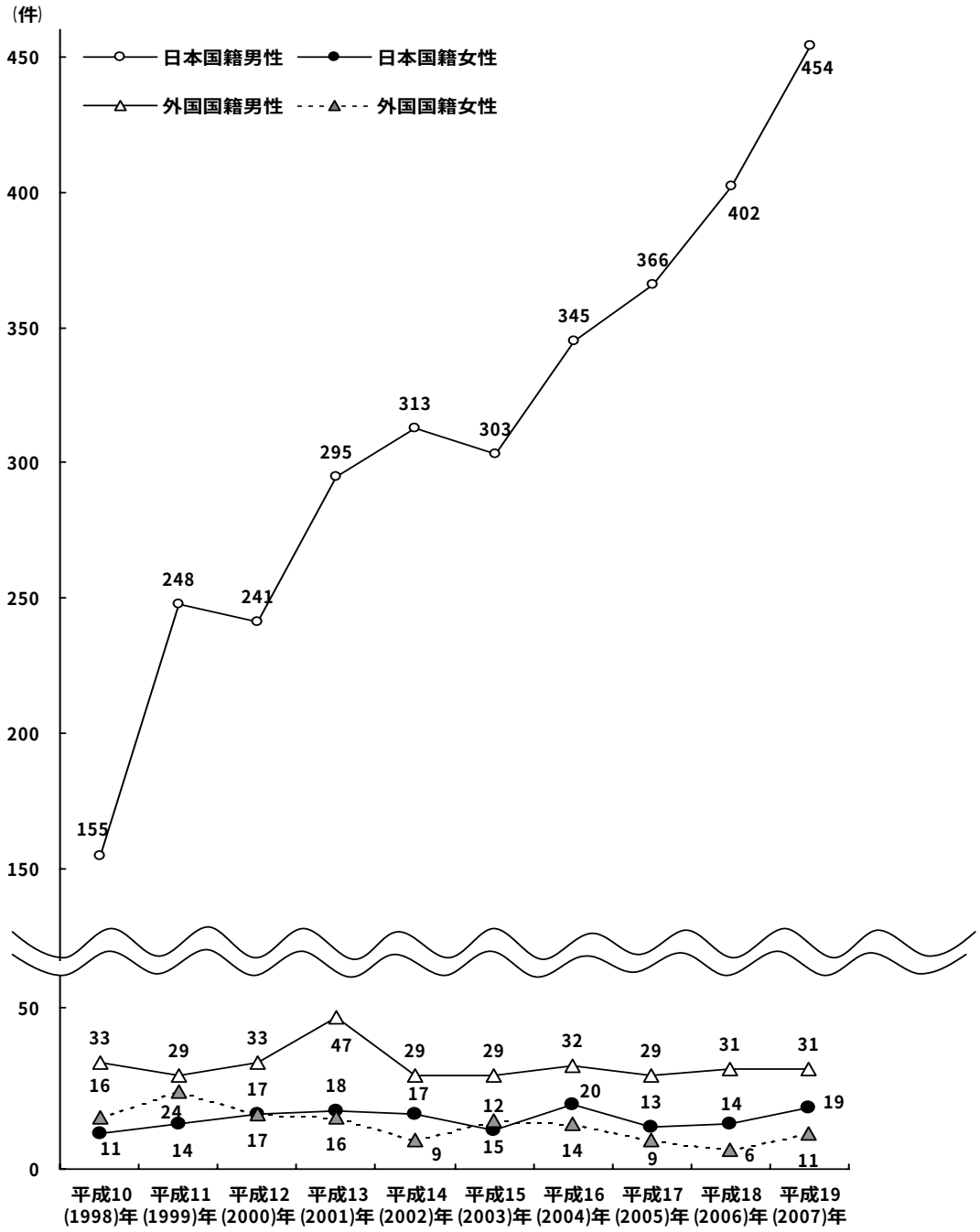
注１：労働相談全体に占める割合
注２：労働相談・あっせんの中では、本人自らが「心の問題を抱えている」と話した場合、使用者との調整の中で心の問題が浮かび上がってきた場合のみ「メンタルヘルス」としてカウントしている（相談担当から確認するような行為は、労働相談の円滑な進行を妨げるおそれがあるため）。このため、数値は参考数字である。

資料：東京都産業労働局「労働相談及びあっせんの概要」

３．HIV 感染者、AIDS 患者数

平成 19（2007）年の都内におけるＨＩＶ感染者及びＡＩＤＳ患者の報告数は、「日本国籍男性」が 454 件であり、増加傾向にある。

図表Ⅱ－３－３　HIV 感染者、AIDS 患者数の報告数の推移（都）



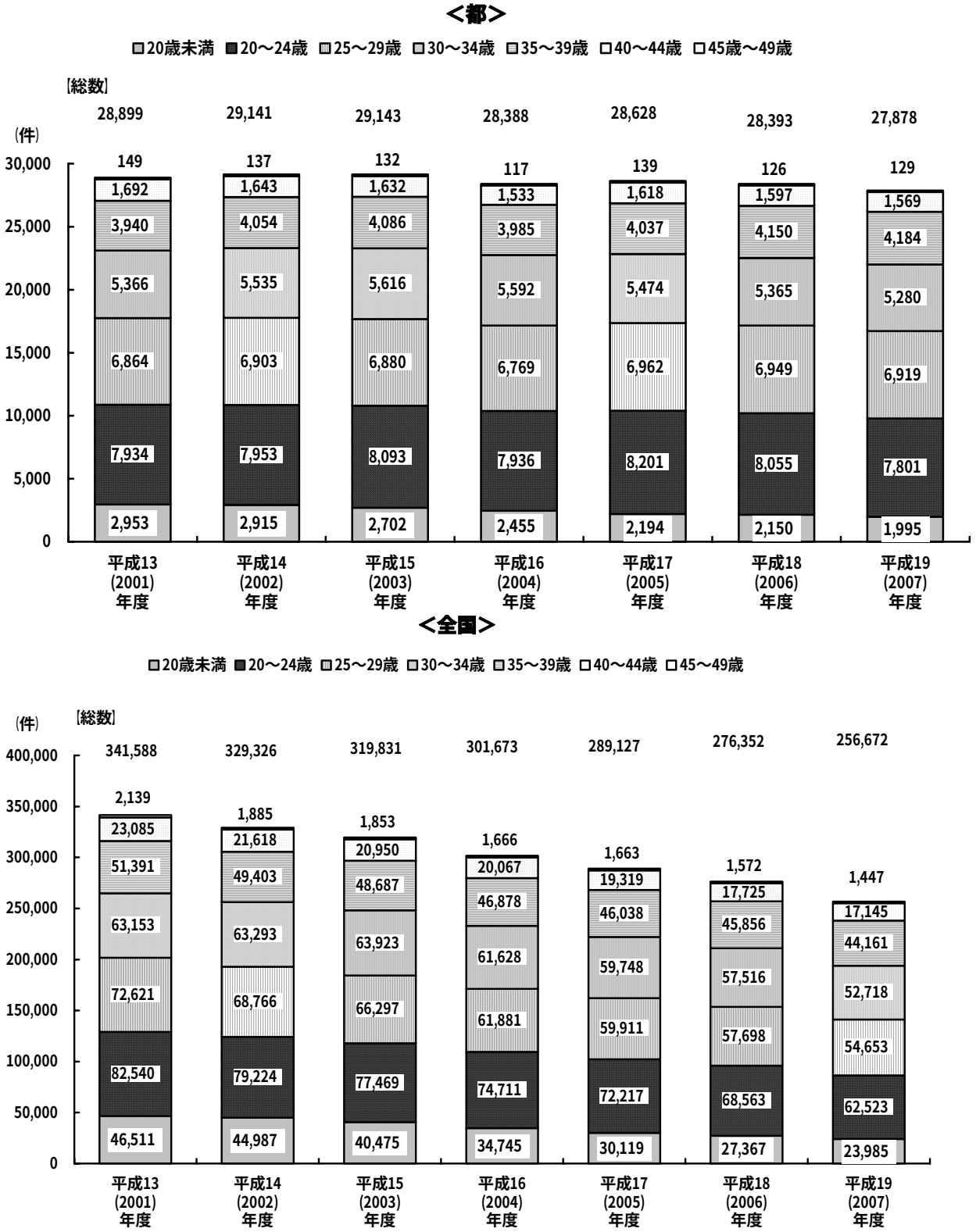
注１：ＨＩＶ感染者とは、ＨＩＶ（ヒト免疫不全ウイルス）が体内に入り、「感染」した状態になっているが、「発症」していない状態の者を指す。
注２：ＡＩＤＳ患者とは、ＨＩＶにより免疫機能が低下し、「指標疾患」と呼ばれる、決められた疾患の症状が認められた者を指す。

資料：東京都福祉保健局「平成 19 年東京都のＨＩＶ感染者・ＡＩＤＳ患者の動向及び検査・相談事業の実績」

４．人工妊娠中絶件数の推移

人工妊娠中絶件数は、都ではここ数年 28,000 件前後で推移し、平成 19（2007）年度は 27,878 件であった。全国では減少傾向となっている。

図表Ⅱ－３－４　人工妊娠中絶件数の推移（都・全国）



注：【総数】には「50 歳以上」「年齢不詳」を含む。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」